

長い間、地元の人によって里山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までこのような所にはたくさんの種類の生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったものの、ここには今では珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、『あつぎこどもの森公園』において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

- 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である『あつぎこどもの森公園』の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。
- 私たちは、里山の自然環境の特性をいかした様々な体験の機会を子どもたちに提供し、生きる力を育みます。
- 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

制作 ©あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトグループ 通巻80号

写真 吉田文雄・ナカノジュンゴ・青砥航次

連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433

E-mail atugikodomonomorikurabu@gmail.com

HP: <https://atsugikodomonomori.com/>

新緑の空中回廊を歩く



スイカズラ

2023年5月20日(土)

主催 **あつぎこどもの森クラブ**

このパンフレットのバックナンバーは下記からダウンロードできます
<https://atsugikodomonomori.com/guidedwalk>

空中回路を歩く

鳥たちは繁殖の季節を迎えて、賑やかにさえずる声の新緑の森によく似合います。

(ここで聞こえる鳥)

留鳥 シジュウカラ ヤマガラ メジロ コゲラ ウグイス など

漂鳥 アオバト

渡り鳥 キビタキ ホトトギス ツツドリ など

運が良ければ、サンコウチョウ ヤブサメ センダイムシクイも

聞こえた声の主が分かると楽しいですね。

回廊からは木の花がよく見えます。



ヤマボウシ



イタヤカエデ



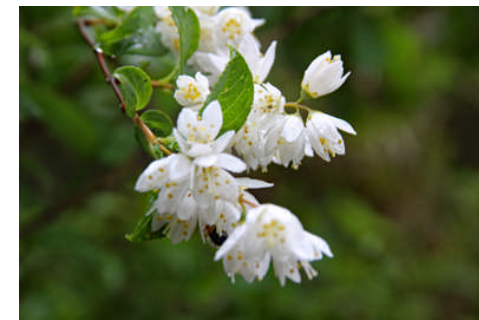
ニシキウツギ



ミズキ



サンショウ



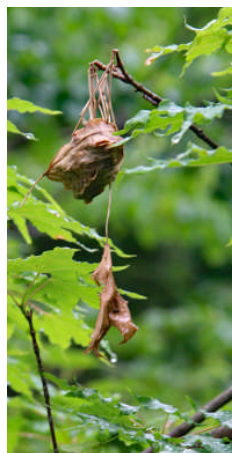
ウツギ



テイカズラ



スイカズラ



イタヤカエデ
ハマキチヨッキリ



エビヅル

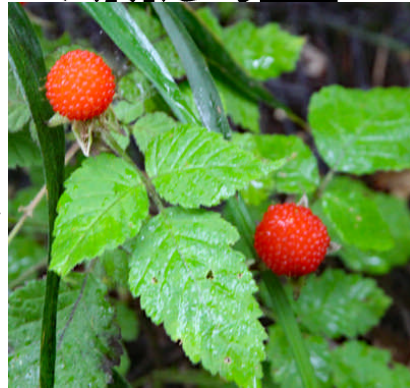


ミノムシ
(ミノガ幼虫)

最近のこどもの森公園



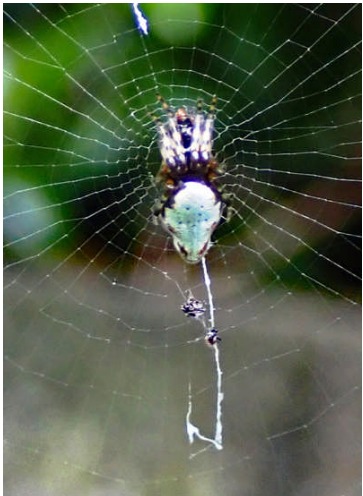
モミシイチゴの実



クサイイチゴの実



ユウゲシヨウ
外来種で最近増えている。



ギンメッキゴミグモ



クロホシツツハムシ



アヤモクメキリガ



アワフキムシ

左：羽化した脱皮殻

右：幼虫



オオトビモンシャチホコガ幼虫
集団でコナラの葉をたっつべる。毒はない。



モモノゴマダラノメイガ



ヒメレンゲゴケ
切り通しの土留めネットに



ヤマトクロスジヘビトンボ

活動の記録

4月29日

こどもの森フェスタ



自然観察

1時間の短いコースでしたが、いろいろ見ながら歩くのは、意外と疲れる者でした。



いきものガイド(下)

大学生のお兄さん、お姉さんはにさなこどもも楽しく接してくれました。



こどもの森ガイドウォーク(自然観察)原則毎月第3土曜日

原則事前申し込み制で、定員に空きがある場合は当日参加もできます。会員に限らず誰でも申し込みます。

管理棟集合 参加無料どなたでも参加できます。 開始時間要確認

4月15日	雑木林の春	11月18日	みのりの秋
5月20日	新緑の空中回廊を歩く	12月16日	生き物の冬越し
6月17日	水辺の生き物 トホ・ガエル	← 次回	
7月15日	木もれ日の回廊を歩く	2024年	
8月19日	湿地の生き物を調べる	1月20日	冬の野鳥
9月16日	草原の虫たち	2月24日	冬芽とコケ
10月21日	秋の花	3月16日	春の兆し

植物モニタリング

原則毎月第2金曜日の9:30から 決まったコースを歩いて出現する植物を記録します。植物を覚えたい方により機会です。会員対象

草木染め勉強会

園内にある植物を使って草木染めをいろいろ試してみようという会です。毎月第3金曜日午前中。 会員対象です。(入会はいつでも受付けています)

いきものガイド

東京農大学生による生き物調べお手伝い 第1, 第3日曜14時 ~ 16時